

2018 年度（平成 30 年度）

研究部門名 物理学研究部門

講座名 量子多体系物理学講座

教員名 中田 仁

電子メール nakada 理 faculty.chiba-u.jp

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・ 号	頁	発行・発表 年等	掲載論文の DOI(付与されて いる場合)
(1)	<u>H. Nakada</u> and <u>K. Takayama</u>	Intertwined effects of pairing and deformation on neutron halos in magnesium isotopes	Physical Review C	98 (1)	011301(R) (5 pages)	2018	DOI: 10.1103/PhysRevC.98.011301
(2)	<u>S. Miyahara</u> and <u>H. Nakada</u>	Shape evolution of Zr nuclei and roles of the tensor force	Physical Review C	98 (6)	064318 (11 pages)	2018	DOI: 10.1103/PhysRevC.98.064318

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・ 卒業研究 2 名
- ・ 大学院修士 名
- ・ 大学院博士 名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

なし

(4) 国際会議出席と招待リスト

・ ECT * Workshop on “Probing exotic structure of short-lived nuclei by electron scattering”, Italy, July 16-20, 2018; “Solution to long-standing puzzles on nuclear charge radii via 3N interaction”（招待講演）

・ International Conference on Simplicity, Symmetry and Beauty of Atomic Nuclei, China, September 26-28, 2018; “Evidence for three-nucleon spin-orbit interaction in nuclear charge radii” (招待講演)

・ Fifth Joint Meeting of the Nuclear Physics Divisions of the American Physical Society and the Physical Society of Japan, U. S. A., October 23-27, 2018; “Nuclear structure problems solved by realistic nucleonic interaction” (招待講演)

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等 (報道媒体, 報道年月日, 報道内容等)

なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞 (賞名, その内容, 受賞理由等)

なし

(7) 国際共同研究 (共同研究名, 研究内容等)

所属	職名	氏名	共同研究名	研究内容	年度
Institute of Nuclear Research and Nuclear Energy, Bulgaria	准教授	Mitko K. Gaidarov	原子核の表面物性:その対称エネルギー及び中性子星クラストへの寄与	原子核表面の性質について, 特に密度勾配と陽子・中性子の非対称度の寄与に着目し, 中性子星クラストへの寄与を念頭に置きながら, 平均場近似, 局所密度近似等による理論的立場から研究を進めた。	30

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

- ・ 東京大学情報基盤センター スーパーコンピューティング専門委員
- ・ RIKEN RI Beam Factory Program Advisory Committee for Nuclear-Physics Experiments
- ・ 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員
- ・ 筑波大学計算科学研究センター 運営協議会委員

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)

なし

(10) その他

なし